

MENU SPのフィッティングには、Compass V5.9.1以降が必要です。

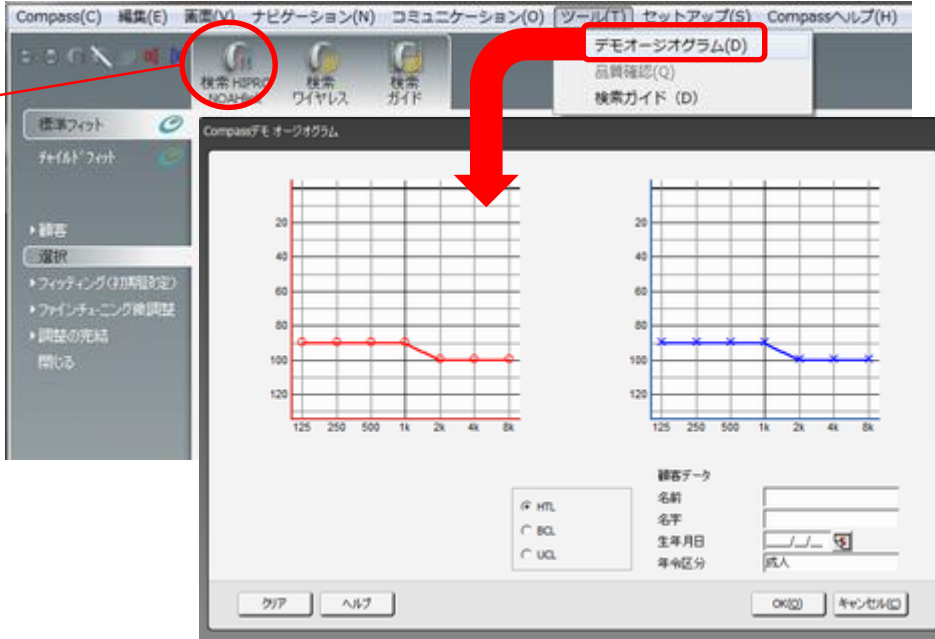
1



デスクトップのCompass DemoアイコンをダブルクリックしてCompassを起動します。
Noah4をお使いの場合は、Noah4アイコンをダブルクリックして起動して顧客を選択します。

2

Compass Demoの場合は、「ツール」から「デモオーディオグラム」を選択し、オーディオグラムを入力します。
Noah4を使用する場合は、Noah4にオーディオグラムを入力します。

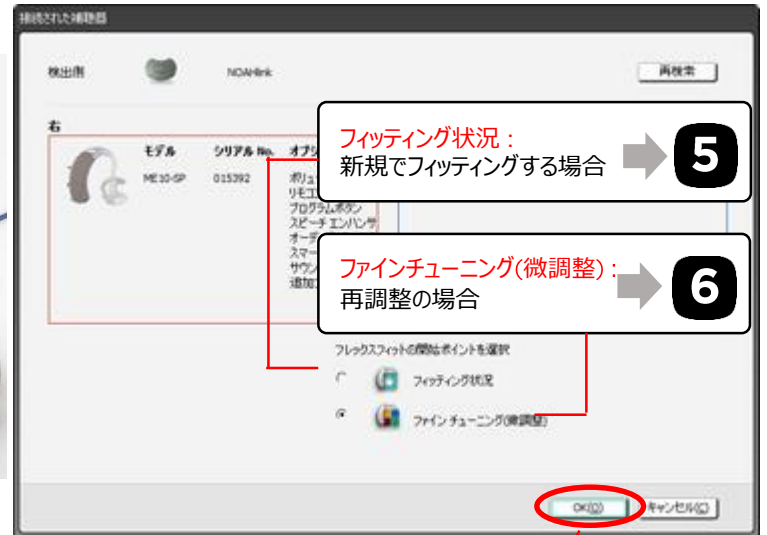


3

補聴器に電池を入れ、アダプターを接続し、NOAHlinkの電源を入れ、「検索HIPRO NOAHlink」のアイコンをクリックします。



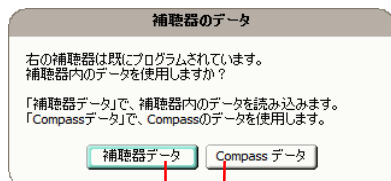
アダプターに接続するときには、補聴器側面の目隠しカバーを外し、まっすぐ差し込みます。



4

チェックを入れ、「OK」をクリックします。

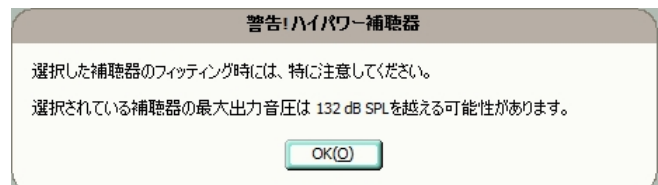
読み込みの途中でこのメッセージが表示されたら...



再調整の場合

新規フィッティングの場合

<Noahの場合> 「Compassデータ」を選ぶと、Noahに保存されている調整を補聴器に上書きします。



5

MENUシリーズはオーディオグラムを基に、補聴器の初期設定が行われます。
 センソグラム推定値にはオーディオグラムの値、フィードバックテスト推定値にはオーディオグラムを基にした推奨ベント径によるハウリング限界値が設定されます。
 試聴の際など簡単にフィッティングしたい時には、推定値のまま進みます。
 購入決定後や、ハウリングの問題がある場合は、個人差を正確に反映した詳細なフィッティングをするために、センソグラム測定・フィードバックテストを実行します。



6

画面左のメニューにある ファインチューニング（微調整）をクリックします。



7

プログラムを設定する場合は、**P** (プログラムマネージャー)をクリックします。



音の大きさや音質の微調整を行います。

500 1k 2k 4k (Hz)

MPO dB HL

IG ラウド	124	124	125	121
IG ノーマル	54	53	55	53
IG ソフト	54	53	55	53

ラウドネス 1 3

大きな音(ラウド)

初期設定: 快適性重視 *

小さな音(ソフト)

減少: 小さな音の聞き取り *

IG ラウド

- ・かなり大きな音
- ・衝撃音の聞こえ
- ・自分の声(低域)

IG ノーマル

- ・会話レベルの音
- ・自分の声
- ・テレビの音

IG ソフト

- ・小さな音の聞こえ方
- ・静かな場所での物音
- ・遠くの音の聞こえ方

ドラッグして複数の値を選択し、一括して調整することができます。

ラウドネス (全体的な音量調整)

大きな音 (ラウド)

最大: 大きな音の聞き取り
 増加2: 大きな音の聞き取り
 増加1: 大きな音の聞き取り
 初期設定: 快適性重視 *
 減少1: 大きな音の聞き取り
 減少2: 大きな音の聞き取り
 減少3: 大きな音の聞き取り
 最小: 大きな音の聞き取り

小さな音 (ソフト)

最大: 小さな音の聞き取り
 初期設定: 音声聴取に最適
 減少: 小さな音の聞き取り *

音量感が必要な場合

大きな音をうるさがる場合

<微調整ガイド>

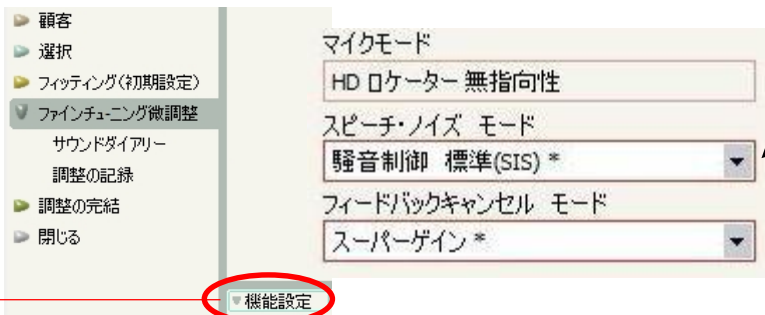
お客様には下記の項目をお伺いしながら調整しましょう。

▲ ▼ は優先的に調整するパラメーターです。不十分な場合は△ ▽ も調整します。

		<< 優先 >>	<< 不十分な時 >>
「よく聞こえない、自分の声が小さい、こもる、変に聞こえる」	はい	IGラウド <500または1k> ▲	IGノーマル <500または1k> △
「うるさい、響く」	はい	IGラウド <2k・4k> ▼ MPO <2k・4k> ▼	IGノーマル <2k・4k> ▽
「ハウリングが起きている」	はい	フィードバックテストの実行	IGノーマル <2k・4k> ▽
「(静かな1m位の距離で) 普通の話し声はちょうどよい大きさですか? 大きかったり、小さかったりしませんか?」	小さい	ラウドネス ▲	IGノーマル <500・1k> △
	大きい	ラウドネス ▼	IGノーマル <2k・4k> ▽
「(静かな1m位の距離で) 普通の話し声ははっきり聞こえますか? はっきりしなかったり、甲高かったりしませんか?」	はっきりしない	IGノーマル <500・1k> ▲	IGノーマル <2k・4k> ▽
	甲高い	IGノーマル <2k・4k> ▼	IGノーマル <500・1k> △

9

▶ **機能設定** をクリックするとパネルが開きます。必要に応じて各項目の設定を変更します。



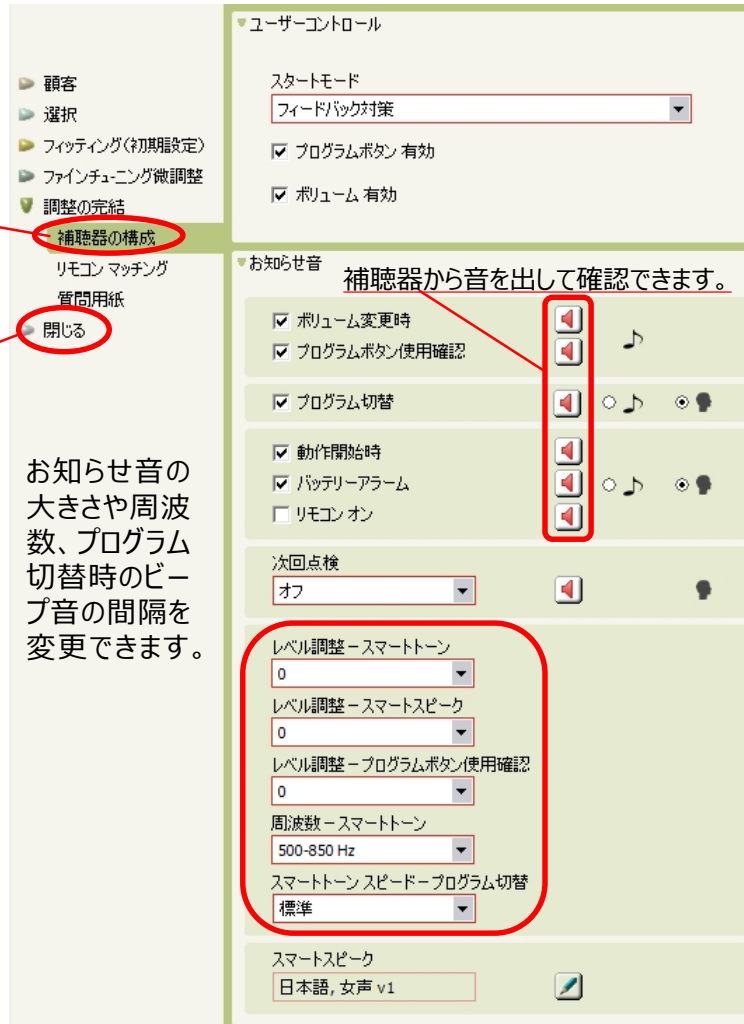
騒がしいところで、自動的に音量が下がることに違和感がある場合は、弱めたオフにします。



※表示できる設定はモデルにより異なります。

10

「調整の完結」から「補聴器の構成」をクリックし、必要に応じて各項目の設定を変更します。



スタートモード：

補聴器の電源を入れた時のモードを変更できます。

フィードバック対策（初期設定）：

補聴器を装着する際のハウリングを抑えるため、電源をオンにした後、約12秒間音が小さくなっています。

標準：

補聴器の電源をオンにした後、補聴器がすぐに起動します。

プログラムボタン有効（初期設定 有効）：

チェックを外すと、補聴器本体のプログラムボタン操作を無効にすることができます。

ボリューム有効（初期設定 有効）：

チェックを外すと、補聴器本体のボリュームコントロール操作を無効にすることができます。

お知らせ音の大きさや周波数、プログラム切替時のビーブ音の間隔を変更できます。

11

フィッティングと各種設定が完了したら、「閉じる」で終了します。

12

補聴器を外し、**アダプターを接続する時に取り外した「目隠しカバー」を取り付けます。** 一度電源をオフにしてからお客様にお渡しします（Compass接続中の補聴器は、ボリューム・プログラムの操作が無効になっています）。

お問合せ先：ワイデックス株式会社 ワイデックススクール
フリーダイヤル：00777-81810 部署番号5 直通：03-5631-2857